

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成31年1月31日

協議会名： 南城市地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(株)鏡原第一交通	市内区域運行(ドアtoドア)によるデマンド交通	今年度は、おでかけなんじいの運行形態(料金・運行エリア)について交通会議で議論し、次年度10月に実施予定の交通再編(バス路線再編)に向けて、デマンドの役割を再確認した。現在進めている生活交通ネットワークの構築に向けて、関係者と調整を進めることができた。	A 南城市生活交通確保維持改善計画のとおり事業は適切に実施された。	B ○登録者数 目標:4,960人 実績:5,101人 ○1日当たり利用者数 目標:84.4人/日 実績:83.6/日 ○1便当たり利用者数 目標:2.8人/便 実績:2.7人/便 ○市民(成人)一人当たり に換算した負担額 目標:40円/月 実績:45円/月	本市では、2019年10月に交通再編(バス路線再編)を予定している。今後は、「南城市地域公共交通網形成計画」に掲げているデマンドの役割(バス路線を補完する)を果たすとともに、再編後のデマンド利用状況を分析しながら、効率的な運行に努める。